

「名古屋ビル桜館」完成

名古屋ビルディング

オフィスや複合ビル賃貸業務などを手掛ける名古屋ビルディング（本社名古屋市中区、赤澤由英社長）は30日、名古屋駅から徒歩6分の場所に完成した「名古屋ビルディング桜館」（名古屋市中村区名駅4の2の25）の竣工（しゅんこう）式を開いた。日建設計執行役員

名古屋代表の山本秀樹氏や清水建設会長の宮本洋一氏ら、設計・施工者の来賓を招き、17人が出席。新ビルの完

成を祝った。神事が行われたほか、名古屋ビルディングの赤澤社長から設計・施工者に感謝状が贈られた。新ビルは、名古屋駅前の



名古屋駅近くに完成した新ビル

桜通に面し、地下鉄桜通線・国際センター駅からは徒歩2分の場所に位置する。地上12階建て地下1階、延べ床面積1万1335平方メートル。ビルの外観は、名古屋駅前にある同社の「名古屋ビルディング」と統一感を持たせ、新たな時代の幕開けをイメージしたドレープ

状のデザインとした。CO₂（二酸化炭素）フリー電力を活用しているほか、大規模水害対策として中央監視システムを1階床面よりかさ上げするなど、企業の環境対応やBCP（事業継続計画）対策のニーズに込んでいる。

神事の後、赤澤社長は「素晴らしい設計デザインをご提供いただき、無事故、無災害でこの日を迎えられたことに、心から感謝の意を表したい」と謝意を述べた上で、「社員一同、（テナントのリーシング業務に）精一杯頑張りたい」と力を込めた。